新型インフルエンザ対策行動マニュアル

注）新型インフルエンザ」とは、鳥からヒトへ感染する鳥インフルエンザ（H5N1型）をいう。

附属学校園については、教育委員会からも要請があるので併せて対応する

KAGAWA UNIVERSITY

国外発生

国内発生

文部科学省との連絡窓口
総務グループ）
※ 連絡先は時間外連絡網による

フェーズ
4A～6A
国外で発生」

フェーズ4B
国内で発生」

フェーズ5B
国内で集団発生」

外出の自粛
が勧告される

フェーズ6B
非常事態宣言」

文部科学省、外務省、厚生労働省等から、あらゆる情報を収集する

職員は、以下の措置を行う
①学生、職員への周知の検討
保健管理センター、学生生活支援グループ、給与福利グループ）
②医療機関等の受診の指導準備
保健管理センター）

職員は、以下の措置を行う
①学生の出席停止等の措置を検討
各学部、修学支援ｸﾞﾙｰﾌﾟ）
②臨時休業の措置を検討
人事グループ）

職員は、以下の措置を行う
①海外渡航の自粛の検討
研究協力ｸﾞﾙｰﾌﾟ）

職員は、以下の措置を行う
①学生との連絡方法を検討・確保
学務グループ）
②留学生との連絡方法を検討・確保
留学生グループ）

職員は、以下の措置を行う
① 大学等の施設閉鎖を検討
施設企画グループ）

フェーズ4A以上

フェーズ4B以上

フェーズ4B以上

フェーズ4B以上

フェーズ6B

フェーズ6B

周　　知
学生、職員に掲示板、ホームページ、メール配信等により周知

保 健 指 導
学生、職員に医療機関等への相談、受診するよう指導する
・適切な判断、行動の指導

出席停止措置
学生に掲示板、ホームページ、メール配信等により周知する

臨時休業措置
職員にメール配信、放送設備、電話等により周知する

海外渡航の自粛
職員にメール配信、放送設備、電話等により周知する

学生への対処
・閉鎖中の学生生活の指導
・留学中の学生の安否確認

大学等の施設閉鎖
職員にメール配信、放送設備、電話等により周知する

報告

報告

文部科学省 法人支援課」
①連絡体制の確認
②報告

連絡・報告

学長が必要と判断した場合

学長の発令により、
危機対策本部を設置

連携

部局等の長が必要と判断した場合

部局における危機対策本部を設置

① 副本部長の指名及び本部員の追加
学長は理事の中から副本部長を指名し、また、必要に応じ各部局等の長を本部員に加える

② 危機対策本部設置の周知
総務グループは、香川大学時間外緊急連絡網により学内に周知する
(可能であれば、Team WAREや放送設備も使用し、迅速に周知。)

③ 危機対策本部の設置場所
事務局管理棟 3階第 1会議室を優先的に本部とする
(不可ならば、他の場所を確保。)

※ その他、危機対策本部の業務は危機管理基本マニュアルに基づき行う